

令和3年度
学生募集要項

2021

一般選抜

※令和3年1月8日変更
12頁 試験科目及び試験日程
(美術科彫刻専攻)

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

大学概要

1. 大学憲章と活動指針	1
2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
3. 卒業後の資格	4

令和3年度学生募集要項 一般選抜

1. 募集人員	5
2. 出願資格	5
3. 出願期間・出願方法等	6
4. 試験科目及び試験日程	12
5. 選抜方法	14
6. 試験実施場所	14
7. 試験当日持参する用具等	15
8. 美術科油画専攻「作品提出」について	16
9. 大学入学共通テストの受験を要する教科、配点等	17
10. 配点	18
11. 令和3年度入学者選抜試験の採点・評価基準	19
12. 注意事項	20
13. 新型コロナウイルス感染症等に関して	20
14. 合格者発表	21
15. 追加合格	21
16. 入学手続	21
17. 入学試験情報の提供	22
18. 個人情報の取扱い	22
19. 受験生の宿泊	23

大 学 概 要

1. 大学憲章と活動指針

大学憲章 Mission Statement

金沢美術工芸大学は、1946年、戦後の混乱と虚脱のなか、学問を好み、伝統を愛し、美の創造を通じて人類の平和に貢献することを希求する金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と、地域の文化と産業の振興を目指して創立された。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきた。

素材を知り、技を磨き、現代に生きる表現に高めるべく「ものづくりの精神」を尊び、幅広い人間性に裏付けられた理論と技術の彫琢をとおして、芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指す。

活動指針 Mission Policies

<創作の意欲と能力を育てる教育の推進> Creative Potential

地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。

<質の高い研究とオリジナリティの追求> Professional Individuality

深く芸術の神髄を探究し、諸分野における卓越した知識と技術の継承によって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化の発信母体となる。

<地域と世界に貢献する芸術活動の展開> Public Contribution

市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核を担い、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する。

<自立した大学の運営と公共性を重んじる組織の発展> Institution Independence

社会の変化に迅速かつ的確に対応できる教育体制と事務組織を構築し、自己決定、自己責任に基づく自主自立の大学運営を目指す。

2. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

金沢美術工芸大学は、工芸美術の継承発展と地域の文化と産業の振興に寄与すべく1946年に創立されました。以来、個性豊かな教育・研究活動に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担いつつ、美術・工芸・デザイン界で活躍する数多くの人材を輩出してきました。

金沢美術工芸大学は、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」（大学憲章）を育成することを社会から負託された使命であると考え、次の3つの教育目標を掲げています。

1. 地域の文化資源を活用し、「手で考え、心でつくる」をモットーに創造力を高め、人間味あふれる個性と倫理を涵養し、未来社会を拓くクリエイターの育成を目指す。
2. 深く芸術の神髄を探究し、美術・工芸・デザイン分野における卓越した知識と技術を継承することによって、固有の芸術領域を開拓し、創造的かつ先端的な文化を担う人材の育成を目指す。
3. 市民から愛され、尊敬される芸術文化教育の中核として、地域社会の活性化と人々の幸福を願い、地球社会の平和と共存に貢献する人材の育成を目指す。

このような教育目標に共鳴し、美術・工芸・デザイン分野における知識と技術の担い手となる意欲と資質を備え、積極的に勉学に取り組む主体性のある人を金沢美術工芸大学は求めています。

入学を希望する諸君に金沢美術工芸大学が望むのは、デッサン等の実技能力を養っておくことに加え、高等学校までの各教科・科目をできる限りしっかりと習得しておくことです。広い視野と基礎的な学力があってはじめて、自らの問題意識を掘り下げて、より高度な制作・研究に進むことが可能になります。一般選抜試験では、すべての専攻が大学入学共通テストにおいて「国語」及び「外国語」を必須の試験科目として課しています。入学後の授業では、制作課題のプレゼンテーションやレポートなど、言語による表現が要求されます。また、筋道立てて読みとる読解力はあらゆる学問・情報に接近するために不可欠な基礎的能力だと考えます。

金沢美術工芸大学では、各専攻がその理念と教育方針に応じて、入学者選抜試験における教科・科目及び実技、小論文、面接等の要件を設定し、明確な目的意識をもった人の入学を求めて「求める学生像」を公表しています。また、美術科芸術学専攻とデザイン科の全専攻と工芸科では学校推薦型選抜を実施しています。

学修に必要な技能と基礎的な学力を備え、「芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材」を目指して勉学に励むことができる人を金沢美術工芸大学は広く受け入れます。

美術科

美術科では、高度で創造的な技術の修得とその応用をはかり、古典から現代までをつらぬく美術理論を学びます。各専攻はそれぞれの専門にふさわしい目標を定め、特色あるカリキュラムを編成しています。将来、作家や研究者をはじめ、これからの美術分野で活躍し、貢献する人材の育成を目指しています。

このことから、美術科では次のような人を求めます。

日本画専攻

- ・ 絵画に関する基礎的な描写・表現力や観察力並びに知識を有する人
- ・ 芸術について強い興味と意欲が有り、将来広く美術の応用面に携わる事を望む人
- ・ 将来、作家として広く国内外で活躍したいと希望する人

油画専攻

- ・ 絵を描く事が好きで、自己表現に向けて努力できる人
- ・ 基礎的技術を高め、知識を深めたい人
- ・ 国際的な美術の動きに興味を持っている人

彫刻専攻

- ・ 造形の「美」や「表現」に対して強い好奇心と探求心を持つ人
- ・ 「自然」や「素材」と素直に向き合い、粘り強く制作に取り組める人
- ・ 開かれた世界で活躍する強い意志と夢を持った人

芸術学専攻

- ・ 美術の歴史や現状を、理論と実技の両面から探究するための基礎がある人
- ・ 美術の歴史、理論、技法のさまざまな領域において、専門的研究を展開できる人
- ・ 研究成果を社会と地域に還元し、また国際的に貢献する意欲のある人

デザイン科

デザイン科は、それぞれの専門分野における教育をより高度なものとしつつ、3つの専攻にわたって連携した教育を行っています。グローバル化、多様化の進む現代の社会において、デザインの世界を広く眺めながら、優れた専門性を発揮できる人材の育成を目指しています。

このことから、デザイン科では次のような人を求めます。

視覚デザイン専攻

- ・ ものを創ることが何よりも好きで、アイデアを考えることが楽しくて仕方がない人
- ・ 柔軟性と独創性に優れ、自己の能力と技術を磨くことに喜びを感じる人
- ・ コミュニケーション能力を持ち、デザインを通して社会との関わりを大切にする人

製品デザイン専攻

- ・ 自らの手で、ものづくりすることが好きで基礎的な表現力を備えている人
- ・ 人や生活道具への関心が高い人
- ・ デザイナーとして社会で活躍することへの意欲を持っている人

環境デザイン専攻

- ・ 場所の特性を理解する力、発想力、アイデアの展開力を磨こうとする人
- ・ 空間デザインに興味を持ち、そこで様々な演出を試そうとする人
- ・ 金沢のまちを舞台として、デザイン能力を高め、世界に羽ばたこうとする人

工 芸 科

工芸科は、1年次で様々な素材に触れる体験から基礎的な造形力を養います。2年次以降は陶磁、漆・木工、金工、染織のいずれかの領域を選択し、各々の素材に関する多様な技術の習得、現代の社会的ニーズに適応したより高度なものづくりや造形表現に取り組みます。4年間を通して世界に発信する工芸作家、研究者、デザイナーの養成を目指しています。

このことから、工芸科では次のような人を求めます。

- ・基礎的な表現力を有し、工芸に対し幅広く関心を持つ人
- ・素材、技法、表現に対して、柔軟な対応力を有する人
- ・将来、工芸を通して広く国内外で活躍したいと希望する人

3. 卒業後の資格

- (1) 本学を卒業する者には、学士（芸術）の学位が授与されます。
- (2) 教職に関する専門教育科目を履修し、美術科またはデザイン科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）が与えられます。また、教職に関する専門教育科目を履修し、工芸科を卒業した者には、中学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（美術）、高等学校教諭1種免許状（工芸）が与えられます。
- (3) 博物館に関する専門教育科目を履修し、本学を卒業した者には、学芸員となる資格が与えられません。
- (4) 環境デザイン専攻を卒業した者には、二級建築士受験資格（実務経験不要）と、商業施設士補（講習会受講が必要）の資格が与えられます。

令和 3 年度 学生 募集 要 項

一 般 選 抜

1. 募 集 人 員

学 部 ・ 学 科		専 攻	一般選抜 募集人員	入学定員 (学校推薦型選抜含む。)
美 術 工 芸	美 術 科	日 本 画 専 攻	15 人	15 人
		油 画 専 攻	25 人	25 人
		彫 刻 専 攻	15 人	15 人
		芸 術 学 専 攻	10 人	15 人
芸 学 部	デ ザ イ ン 科	視 覚 デ ザ イ ン 専 攻	18 人	20 人
		製 品 デ ザ イ ン 専 攻	18 人	20 人
		環 境 デ ザ イ ン 専 攻	18 人	20 人
	工 芸 科		18 人	20 人
計			137 人	150 人

2. 出 願 資 格

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和3年度大学入学共通テストを受験した者とします（受験を要する教科・科目は、16 ページ参照）。

※ 本学では前年度の大学入試センター試験の成績は利用しないので、令和3年度大学入学共通テストを必ず受験してください。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）及び令和3年3月31日までに合格見込みの者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの
 - ⑥ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - ⑦ 本学において、個人の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの

3. 出願期間・出願方法等

出願方法はインターネットを利用した WEB 出願のみとなります。

詳細は本要項 9～11 ページの「WEB 出願の流れ」を参照してください。

(1) 出願前に用意するもの

調査書等	<ul style="list-style-type: none">・在籍（出身）学校長が作成厳封した「調査書」・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧検定合格者を含む。）は、当該試験の「合格成績証明書」・廃校・被災等やむを得ない事情で調査書の取得ができない場合は、「卒業証明書」及び「成績証明書等」
大学入学共通テスト 成績請求票	<ul style="list-style-type: none">・大学入試センターから交付された令和 3 年度大学入学共通テスト成績請求票のうち、「公立大学中期日程用」
顔写真データ	<ul style="list-style-type: none">・脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前 3 か月以内に撮影したカラーの顔写真データ・不鮮明なもの、背景が暗いもの、加工を施しているもの等は不可・入学後の学生証にも使用するため、<u>学校の制服姿は不適</u>
封筒	<ul style="list-style-type: none">・市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）
用紙	<ul style="list-style-type: none">・A 4 サイズの白の用紙

(2) 出願方法

志願者は、出願期間内に本学ホームページ等から「金沢美術工芸大学インターネット出願サイト」にアクセスし、必要事項を登録後、「(5) 必要書類」を書留速達郵便により郵送してください。

※直接持参不可、出願締切日（2月5日）消印有効

(3) 出願期間

令和 3 年 1 月 25 日（月）～ 2 月 5 日（金）

出願登録：2月5日（金）17時まで

入学考査料支払：2月5日（金）23時59分まで

必要書類郵送：2月5日（金）消印有効

※大学入学共通テストの特例追試験受験者は、2月15日（月）～2月18日（木）にも出願登録等を行うことが可能です。この期間に出願を希望する者は2月15日（月）17時までに本学事務局まで電話連絡してください。

(4) 必要書類送付先

〒920-8656 金沢市小立野 5 丁目 11 番 1 号

金沢美術工芸大学事務局 電話 076-262-3531

※出願登録完了後に WEB 出願サイトから封筒貼付宛名シートがダウンロードできます。

(5) 必要書類

I WEB 出願サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書 類	作 成 方 法
① 志願票	出願登録完了後に印刷（A4判、カラー推奨）してください。 印刷後、大学入試センターから交付された令和3年度大学入学共通テスト成績請求票のうち、「公立大学中期日程用」を成績請求票貼付欄に貼付してください。
② 封筒貼付用宛名シート	出願登録完了後に印刷（A4判、カラー推奨）してください。 印刷後、各自が準備する角形2号封筒（240mm×332mm）に貼付してください。

II 上記 I に加え、各自が準備して大学に提出するもの

書 類	作 成 方 法
③ 調査書等	在籍（出身）学校長が作成厳封したものを提出してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者（旧検定合格者を含む。）は、当該試験の「合格成績証明書」を提出してください（合格証明書は不要）。 廃校・被災等やむを得ない事情で調査書の取得ができない場合、調査書の代わりとして「卒業証明書」及び「成績証明書等」を提出してください。
④ 角形2号封筒	市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、②で印刷した封筒貼付用宛名シートを貼付し、出願期間内に必要書類（①、③）を「書留速達郵便」で郵送してください。 ※出願締切日（2月5日）消印有効

III 大学側からのメール受信後に WEB 出願サイトからダウンロードして試験当日持参するもの

（⑥自己作品証明書は試験当日提出していただきます。）

書 類	作 成 方 法
⑤ 受験票	大学が出願を確認後、2月28日までに一斉に受験票を配信します。WEB 出願サイトから受験票のダウンロードが可能となりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。必ず各自が印刷（A4判、カラー推奨）し、試験当日に持参してください。 ※大学から郵送はいたしません。 ※2月28日までに受験票のダウンロードに関するメールが届かない場合は、本学事務局までお問い合わせください。 ※受験票は、入学手続きのときに必要となるので、受験後も大切に保管してください。
⑥ 自己作品証明書 ※油画専攻志願者のみ	受験票とともに印刷（A4判、白黒）してください。印刷後、日付・氏名を記入し、提出する作品の写真を貼り付け、実技試験当日に持参し、提出してください。

(6) 入学考査料（受験料）17,000 円

入学考査料の支払いは、インターネット出願登録完了後に行います。出願登録完了後、10 ページに記載するいずれかの手順で支払手続に進んでください。

支払期限は、出願登録日を含め4日間です（出願締切日までの期間が4日より短い場合は、出願締切日が優先されます。）。支払期限内に入金がない場合、出願登録は自動的にキャンセルとなるため、注意してください。

※入学考査料の他に、支払手数料等が発生します。

※入学考査料の払い戻しはいたしません。

(7) 出願に当たっての注意事項

- ① 本学の試験日程は、「公立大学中期日程」で実施します。
- ② 本学と同一日程に属する他大学・学部への出願（いわゆる重願）はできません。
- ③ 本学では、学科及び専攻間の併願はできません。
- ④ 本学の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、本学の個別学力検査等を受験する資格のない者として取り扱いますので、十分確認したうえで出願してください。
- ⑤ 他の国公立大学（分離分割方式を採用していない公立大学を除く。公立大学協会ホームページ参照）の推薦入学合格者は、本学を受験しても合格者となりません。ただし、特別の事情があり、推薦入学を行った大学へ「推薦入学辞退願」を提出し、その許可を得た者は除きます。
- ⑥ 他の国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日までにその大学への入学手続を行った者は、本学を受験しても、合格者となりません。
- ⑦ 本学の美術科芸術学専攻、デザイン科又は工芸科の学校推薦型選抜で不合格となった者も、本学の一般選抜を受験できます。
- ⑧ 出願受付後は、いかなる理由があっても書類の返却及び記載事項の変更はできません。

(8) 身体に障がいのある入学志願者との事前相談

身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）がある本学入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、事前に事務局に相談し、出願前に事前相談申請書等を提出してください。

なお、事前相談は、次のとおりとします。

- ① 相談の時期
学生募集要項発表後から令和2年12月18日（金）まで
9時から16時まで（土・日曜、祝日を除く。）
- ② 相談の方法
事前相談申請書（本学所定の様式に健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、志願者又はその立場を代弁し得る在籍（出身）学校関係者等との面接等を本学において行います。
- ③ 相談先
金沢美術工芸大学 事務局 電話 076-262-3531

Web出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



※大学からのメール受信後

STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、大学入学共通テスト成績請求票



STEP

2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト▶ <https://e-apply.jp/e/kanazawa-bidai/>

または、

大学ホームページ▶ <https://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①志望学科・専攻選択



②写真画像データのアップロード



③個人情報(氏名・住所等)入力



④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する場合と、出願書類を出力する際に必要になります。

「出願内容の確認/志願票・受験票の印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、登録した出願内容の確認、志願票等の出力ができます。



⑤入学考査料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

入学考査料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 番号メモ(13桁)													
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)													
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)													
確認番号 メモ(6桁)													

収納機関番号 (5桁)	5 8 0 2 1	※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。
----------------	------------------	-------------------------------

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学考査料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学考査料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4



入学考査料の支払い

*考査料のお支払いには期限があります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



Famiポート

あなたも、コンビニ、FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

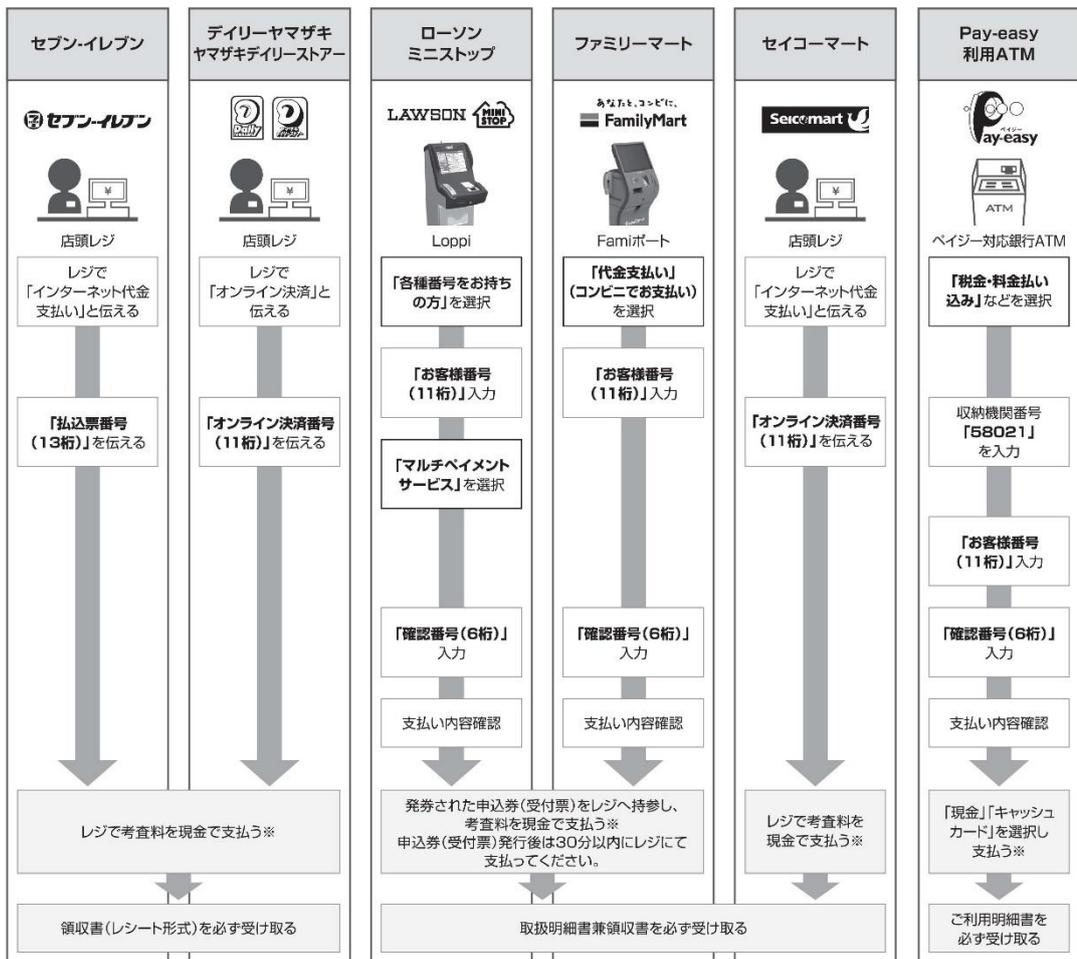


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学考査料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

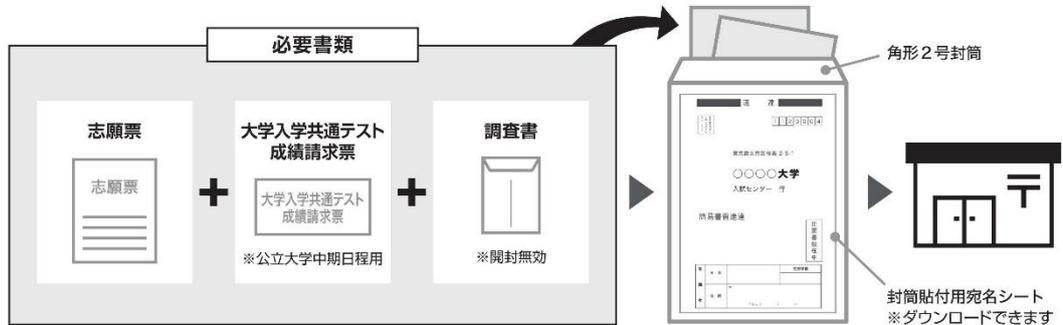
STEP

5

必要書類の印刷と郵送

***登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。**

出願登録、入学考査料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、その他の必要書類と合わせて出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。*出願締切日消印有効。



送付先

〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1
金沢美術工芸大学 事務局 行

志願票等の印刷方法



「出願内容の確認／志願票・受験票の印刷」ボタンより、**受付番号(*)**、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、登録した出願内容の確認、志願票等の出力ができます。

※出願受理した入学考査料・必要書類は一切返却しません。

<出願完了>

出願時の 注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学考査料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。**登録のみでは出願は完了していませんので注意してください。**

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日17時まで、入学考査料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願締切日消印有効です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

6

受験票の印刷

大学で出願を確認後、**2月28日まで**に一斉に受験票を配信します。Web出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、**必ず印刷し、試験当日持参してください**(※**郵送はいたしません**)。

※受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※油画専攻の志願者は、「自己作品証明書」も印刷し、試験当日持参してください。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に**片面印刷**してください。



<入力及び操作に関するお問い合わせ先>

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター(運用会社:株式会社ディスコ)

TEL:0120-202079 E-Mail:cvs-web@disc.co.jp

※入試・大学についてのお問合せにはお応えできません。まずは、出願サイトの「よくある質問」にてご確認ください。

令和3年1月8日変更

4. 試験科目及び試験日程 [学科、専攻により集合時間が異なるので、注意してください。]

学科・専攻		3月9日(火)	3月10日(水)	3月11日(木)
美術科	日本画専攻	実技試験 I 鉛筆写生 (集合 8:30) 9:00 ~ 16:45 (休憩 12:00~12:45)	実技試験 I 合格者発表 掲 示 10:00 ホームページ 11:00	実技試験 II 着彩写生及び面接 (集合 8:00) 8:30 ~ 16:45 (休憩 12:00~12:45)
	油画専攻		作品提出 油彩又はアクリル 実技試験 木炭デッサン又は 鉛筆デッサン(出願時に選択) (集合 8:00) 8:30 ~ 16:15 (休憩 12:00~12:45)	面接 (集合 8:45) 9:00 ~ 12:00 (集合 12:45) 13:00 ~ 16:00 ※午前・午後のグループに分け、受験番号順に実施する。属するグループは出願時に登録したアドレスに通知する。
	彫刻専攻		実技試験 I 木炭デッサン又は 鉛筆デッサン(出願時に選択) (集合 8:30) 9:00 ~ 15:45 (休憩 12:00~12:45)	実技試験 I 木炭デッサン又は 鉛筆デッサン(出願時に選択) (集合 8:30) 9:00 ~ 15:45 (休憩 12:00~12:45) 実技試験 I 合格者発表 ホームページ 20:00 ※学内での掲示は行いません。
	芸術学専攻	実技試験 鉛筆デッサン 又は 小論文 (出願時に選択) (集合 8:30) 9:00 ~ 11:30 (休憩 11:30~13:00) 面接 13:00 ~ 17:00		
デザイン科	視覚デザイン専攻			実技試験 I 鉛筆デッサン (集合 8:00) 8:30 ~ 12:30
	製品デザイン専攻			
	環境デザイン専攻			
工芸科				

4. 試験科目及び試験日程（前ページの続き）

	3月12日(金)	3月13日(土)	3月14日(日)	3月20日(土)	
日本画専攻				<h1 style="writing-mode: vertical-rl;">合格発表</h1>	
油画専攻					
彫刻専攻	実技試験Ⅱ 塑造・スケッチ・面接 (集合8:00) 8:30 ~ 16:45 (休憩12:00~12:45)				
芸術学専攻					
視覚デザイン専攻	実技試験Ⅰ合格者発表 掲 示 10:00 ホームページ 11:00	実技試験Ⅱ 色彩構成 (集合8:00) 8:30 ~ 12:30 (休憩12:30~13:30) 作品説明・面接 13:30 ~ 16:30			
製品デザイン専攻	実技試験Ⅰ 鉛筆デッサン (集合8:00) 8:30 ~ 12:30	実技試験Ⅰ合格者発表 掲 示 10:00 ホームページ 11:00	実技試験Ⅱ 製品のデザイン (集合8:00) 8:30 ~ 12:30 (休憩12:30~13:30) 作品説明・面接 13:30 ~ 16:30		掲示 10:00 ホームページ 11:00
環境デザイン専攻	実技試験Ⅰ 鉛筆デッサン (集合8:00) 8:30 ~ 12:30	実技試験Ⅰ合格者発表 掲 示 10:00 ホームページ 11:00	実技試験Ⅱ 立体構成 (集合8:00) 8:30 ~ 12:30 (休憩12:30~13:30) 作品説明・面接 13:30 ~ 16:30		
工芸科	実技試験Ⅰ 鉛筆デッサン (集合9:00) 9:30 ~ 15:30 (休憩12:00~13:00)	実技試験Ⅰ合格者発表 掲 示 10:00 ホームページ 11:00	実技試験Ⅱ 色彩表現 (集合8:00) 8:30 ~ 14:30 (休憩12:00~13:00) 面接 15:00 ~ 17:00		

5. 選抜方法

(1) 本学の個別学力検査等は、実技試験Ⅰ及び実技試験Ⅱを課し、実力試験Ⅰに合格した者だけが、実技試験Ⅱを受験することができます（美術科油画専攻及び芸術学専攻を除く。）。

① 美術科油画専攻及び彫刻専攻の志願者は、木炭デッサン又は鉛筆デッサンを出願時に選択し、受験することとなります。

② 美術科芸術学専攻の志願者は、実技試験又は小論文を出願時に選択し、受験することとなります。

(2) 実技試験Ⅰの合格者の発表は、本学において受験番号を掲示するとともに、本学ホームページにも掲載します。

なお、本人には通知しません。

(3) 入学者の選抜は、実技試験Ⅰ・実技試験Ⅱと、大学入学共通テストの得点を合計して総合得点とし、総合得点の上位から順に合格者とします。

なお、美術科油画専攻は、実技試験・作品提出・面接と、大学入学共通テストの得点を合計して総合得点とします。また、美術科芸術学専攻は、実技試験・面接又は小論文・面接と、大学入学共通テストの得点を合計して総合得点とします。

6. 試験実施場所

石川県金沢市小立野5丁目11番1号

金沢美術工芸大学（交通アクセスについては裏表紙の内側を参照）

7. 試験当日持参する用具等

〔受験票〕 本学の「受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を持参してください。

〔実技試験等用具〕

学科・専攻		試験科目	
美術科	日本画専攻	<実技試験Ⅰ> 鉛筆写生用具一式	<実技試験Ⅱ> 着彩写生用具一式
	油画専攻	<実技試験> 木炭又は鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (下敷用紙は白紙のもののみ使用可)	<作品提出> 提出する作品、自己作品証明書 (詳細は本要項 16 ページ「8」参照)
	彫刻専攻	<実技試験Ⅰ> 木炭又は鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ (下敷用紙は白紙のもののみ使用可)	<実技試験Ⅱ> 塑造用具、鉛筆、消しゴム、鉛筆けずり
	芸術学専攻	<実技試験> 鉛筆デッサン用具一式	<小論文> 鉛筆、消しゴム
デザイン科	視覚デザイン専攻	<実技試験Ⅰ> 鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ(定規の使用は不可)	<実技試験Ⅱ> 鉛筆、消しゴム、鉛筆けずり、直定規、 三角定規、コンパス、着彩用具一式 (絵具は本学にて用意)
	製品デザイン専攻		<実技試験Ⅱ> 鉛筆、消しゴム、鉛筆けずり、直定規、 三角定規、コンパス (色鉛筆は本学にて用意)
	環境デザイン専攻		<実技試験Ⅱ> 鉛筆、消しゴム、鉛筆けずり、 カッティング用直定規、三角定規、 コンパス、カッターナイフ (サークルカッターは使用禁止)
工芸科		<実技試験Ⅰ> 鉛筆デッサン用具一式、 カルトン用クリップ	<実技試験Ⅱ> 筆記用具一式、直定規、三角定規、 コンパス、着彩(水性絵具)用具一式

注意事項

- ・用具は、指定された物以外は使用できません。
- ・実技試験で使用するカルトンは大学で用意します。
- ・美術科油画専攻の実技試験及び美術科彫刻専攻の実技試験Ⅰにおいては、木炭紙又は画用紙を選択できます。また、木炭及び鉛筆の併用も可能とします。
- ・デザイン科視覚デザイン専攻の実技試験Ⅱにおいて、持参した絵具、色見本は使用できません。

8. 美術科油画専攻「作品提出」について

美術科油画専攻の志願者は、以下の条件に従って作品を制作し、実技試験当日に持参してください。

(1) 課題

「自画像を描きなさい。」

(2) 条件等

作品1点を提出すること。提出する作品は以下の条件を満たしていること。

- ① F15号キャンバス（日本サイズ、65.2cm×53.0cm）を使用し、画面の向きは縦型とする。
- ② 油彩又はアクリルを使用する。併用可。
- ③ 自画像は、室内にて椅子に座り、着衣・無帽とする。左右どちらかの手に角材を持った姿を鏡に映し、観察した描写とする。角材は一辺3～5cm角で、長さ180cm程度とする。角材の両端は画面に含めなくてもよい。
- ④ 提出する作品は本要項の発表後から任意の期間で制作されたものとする。
- ⑤ 作品は（作品写真も含め）未公開・未発表のものに限る。
- ⑥ 作品の裏に、作品の天地（上下）、及び本学受験番号を明記する。
- ⑦ 作品は提出前に十分に乾燥させること。額装は不可。
- ⑧ 作品は自己作品証明書と併せて実技試験当日に試験場の所定の場所に提出する。郵送等は不可。

(3) 提出日

令和3年3月10日（水）

(4) その他

自己作品証明書は、web出願サイトからダウンロード後、受験票とともに印刷（A4判、白黒）してください。印刷後、日付・氏名を記入し、提出する作品の写真を貼り付け、実技試験当日に持参の上、提出してください。

<自己作品証明書イメージ>

(油画専攻志願者用)
○必要事項を記述してください。
令和 年 月 日
令和3年度 金沢美術工芸大学入学試験（美術科 油画専攻・一般選抜）
自己作品証明書
(あて先) 金沢美術工芸大学長
令和3年度金沢美術工芸大学入学試験（油画専攻・一般選抜）に際し、提出する作品は私（志願者）が所定の期間内に制作したものに相違ないことを誓約します。 なお、相違があった場合は合格取り消し等の処分へ異議を申し立てません。
志願者氏名（自署） 受験番号 *****（印字済み5桁）
作品写真貼付欄
以下の事項に沿って作品写真を貼付してください。 ① 作品の正面から画面全体を撮影したカラー（モノクロ不可）写真とする。 ② 作品写真に写るキャンバスの縦の長さは10cm～13cmとする。 ③ 作品写真のウラ面に志願者氏名・受験番号を記入する。 ④ 作品写真はこの貼付欄の枠内に収まるように貼る。 ⑤ 写真貼付の際、この事項書きは隠れてもよい。
(作品写真はこの点線内側に収まる大きさとする)

9. 大学入学共通テストの受験を要する教科、配点等

大学入学共通テストの成績は、令和3年度の成績を利用します。

本学では全専攻において、3教科3科目（理科の「基礎を付した科目」を選択する場合は4科目）の受験が必要であり、詳細については以下のとおりです。

学 科	専 攻	区 分	教 科	グループ	科 目
美術科	日本画 油画 彫刻	必修 2教科	国語		「国語」
			外国語		「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目選択
デザイン科	視覚 デザイン 製品 デザイン 環境 デザイン	選択 1教科	地理歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」
			公民		「政治・経済」「倫理、政治・経済」 から1科目選択
工芸科			数 学	①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 から1科目選択
				②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目選択
			理 科	①	「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」 から2科目選択
				②	「物理」「化学」「生物」「地学」 から1科目選択
美術科	芸術学	必修 3教科	国語		「国語」
			外国語		「英語(リスニングを含む。)」 「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目選択
			地理歴史		「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 から1科目選択 ※受験科目に注意してください。 ※2科目受験をする場合、上記4科目の中から第1解答科目として1科目選択し、受験してください。

※外国語で英語を選択した者は必ずリスニングを受験してください。

リスニングを受験しなかった場合は失格とします（ただしリスニング免除者を除く。）。

※「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校でこれらの科目を履修した者及び専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。

10. 配点

		実技Ⅰ	実技Ⅱ	大学入学共通テスト							合計
				国語	外国語	地理歴史	公民	数学	理科	計	
美術科	日本画	700点	700点	200点	200点	(200点)	(200点)	(200点)	(200点)	600点	2000点
	油画	実技試験 700点 作品提出・面接 700点									
	彫刻	700点	700点								
	芸術学	実技試験・面接 又は 小論文・面接 800点		400点	400点	(400点)	—	—	—	1200点	2000点
デザイン科	視覚デザイン	700点	700点	200点	200点	(200点)	(200点)	(200点)	(200点)	600点	2000点
	製品デザイン										
	環境デザイン										
工芸科		700点	700点	200点	200点	(200点)	(200点)	(200点)	(200点)	600点	2000点

※（ ）は選択科目を示し、選択科目の中から最高得点を得た1科目の成績を使用します。

ただし、地理歴史、公民及び理科（基礎を付した科目を選択する場合は2科目で1科目扱いとします。）において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を採用し、判定の対象とします。

※選択科目は、成績100点満点を200点満点（芸術学専攻は400点満点）に換算します。

※美術科芸術学専攻は、国語及び外国語（英語を除く）の成績200点満点を400点満点に換算します。

※外国語において、英語を受験した場合は、リーディング100点満点を160点満点（芸術学専攻は320点満点）に換算し、リスニング100点満点を40点満点（芸術学専攻は80点満点）に換算します。

ただし、リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点（芸術学専攻は400点満点）に換算します。

※美術科彫刻専攻の実技試験Ⅱの配点は、塑造500点、スケッチ・面接200点とします。

※実技試験Ⅱの配点は、面接の評価を含めています。ただし、油画専攻は作品提出に面接の評価を含め、芸術学専攻は実技試験又は小論文に面接の評価を含めています。

※大学入学共通テストにおいて、特例追試験を受験した者は、英語の筆記及びリスニングの合計250点満点を200点満点（芸術学専攻は400点満点）に換算します。

1.1. 令和3年度入学者選抜試験の採点・評価基準

令和3年度一般選抜個別学力検査等の入学者選抜は、以下の採点・評価基準に基づき行います。

なお、在籍（出身）学校長が作成した調査書は、面接時の参考資料として活用します。

学科・専攻		採点・評価基準		
美術科	日本画	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフと条件に基づいて、モチーフを的確に把握・認識し、構成・表現する力。	
		実技試験Ⅱ	○提示されたモチーフに対する粘り強い観察力と、本質を豊かに表現する力、及びそれらを分かりやすく伝える力。	
	油 画	実技試験	○提示されたモチーフの観察に基づいて、形態・空間・立体感を表現する力。	
		作品提出	○提示された課題に基づいて、形態・色彩・実在感を表現する力。	
		面 接	○提出する作品について分かりやすく伝える力。	
	彫 刻	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを的確に把握し表現する基礎的なデッサン力。	
		実技試験Ⅱ	○提示されたモチーフと条件に基づいたスケッチと塑造の表現力や創作力、及び作品構想を言語化し自身の意欲を伝える能力。	
	芸術学	実技試験	○提示されたモチーフのフォルムの基礎的な把握力と表現力。	
		小 論 文	○提示された二つの作品（図版）を精確かつ詳細に記述する能力、両者を比較する観点の独自性、及び的確な文章力。	
		面 接	○面接でのコミュニケーション能力。	
	デザイン科	視 覚 デザイン	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフと条件に基づいて、造形要素（形、質感、立体感、構成力等）を表現する力。
			実技試験Ⅱ	○提示されたテーマに対して理解し、独創的な発想をする力。構成力と色彩感覚などの表現力。作品を説明するコミュニケーション能力。
製 品 デザイン		実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフの形や大きさ、質感などを的確に表現する力。	
		実技試験Ⅱ	○提示された製品を与えられた条件によってデザインし、表現する力。それらを分かりやすく伝える力。	
環 境 デザイン		実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフの構造や空間的な成り立ちを把握し、モチーフの素材と陰影が作り出す表情を的確に表現する力。	
		実技試験Ⅱ	○提示された問題内容を読み解く力。独創的な視点で発想する力。考えを空間造形として表現する力。それらを分かりやすく伝える力。	
工 芸 科	実技試験Ⅰ	○提示されたモチーフを、条件に従い形態・質感・画面空間構成に配慮し総合的に表現するデッサン力。		
	実技試験Ⅱ	○提示された問題内容の理解力と、描写力・構成力・発想力、色彩による表現力及びコミュニケーション能力。		

1 2. 注意事項

- (1) 試験場（校舎内）の下見は、認めません。
- (2) 受験者は、試験開始 30 分前までに、指定場所（本学体育館棟）に必ず集合してください。
やむを得ない理由で遅刻した者は、係員に申し出て、その指示に従ってください。
(注) ① 遅刻した者に対して、試験時間の延長は認めません。
② 試験開始後 30 分を超えて遅刻した者は、受験することができません。
③ 油画専攻志願者が実技試験開始前までに所定の場所に作品提出を行わない場合は、実技試験を受験することができません。
- (3) 本学交付の受験票は、必ず携帯してください。
紛失又は忘れた者は、その旨を係員に申し出て指示を受けてください。
- (4) 大学入学共通テストの受験票は、必ず携帯してください。
- (5) 本学の「受験票」、「大学入学共通テスト受験票」、「自己作品証明書（油画専攻志願者のみ）」を持参しない者は、試験場に入場することができません。
- (6) 試験が午前・午後にまたがるときは、昼食時に校舎外に出ることができませんので、あらかじめ昼食を持参してください。
- (7) 携帯電話・スマートフォン等は、不正防止のため昼食時を含め校舎内での使用を禁止します。
- (8) 入学試験作品についての所有権は本学に帰属し、作品の返却はいたしません（美術科油画専攻の作品提出を除く。）。
- (9) 合格者の入学試験作品の一部は、入学後に本人の同意を得たうえで、オープンキャンパス、進学相談会等での展示及び本学ウェブサイト上で公開することがあります。

1 3. 新型コロナウイルス感染症等に関して

- (1) 発熱・咳等の症状がある者は、あらかじめ医療機関での受診を行ってください。
- (2) 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患している者は受験できません。ただし、病状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師による治癒したとの診断がでていない者や、試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験できません。
- (4) 試験前日まで継続して発熱・咳等のある者、試験当日、発熱・咳等の症状のある者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。
症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、昼食時以外、試験場では常に着用してください。また、休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えてください。
- (5) 試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があります。上着など暖かい服装を持参してください。また、食堂の営業等を行わないため、昼食を持参し、自席で食事をとってください。
- (6) 他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、インフルエンザワクチンその他の予防接種を受けておくことが望ましい。
- (7) 日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理を心がけてください。
- (8) 本学では、追試験の設定、別日程への受験の振替等の特別措置は行いません。
- (9) 新型コロナウイルス感染症の影響により、本要項に記載している内容を変更する場合があります。変更点については、本学ホームページで公表します。

14. 合格者発表

合格者の発表は、令和3年3月20日（土）午前10時、本学において受験番号を掲示し、本学ホームページには午前11時に掲載します。また、合格者には合格通知書及び入学手続に関する通知を「書留速達郵便」にて郵送いたします。

（注）電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

15. 追加合格

入学手続きの結果、欠員が生じた場合は、3月28日（日）から追加合格を実施することがありますので、3月28日（日）から3月31日（水）までの間は、連絡が取れるようにしておいてください。この場合、本人あて直接電話連絡をしますので、確実に連絡が取れる電話及び携帯電話の番号を出願時に登録しておいてください。

16. 入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は合格通知書とともに郵送いたします。

(1) 入学手続期間

令和3年3月27日（土）12時まで（必着厳守）

(2) 入学手続方法

本学事務局に必要書類を書留速達郵便で郵送してください。手続期間内必着とします。（直接持参不可）

(3) 必要書類

本学受験票、大学入学共通テスト受験票、入学金の振込証明書、入学手続申請書等

(4) 入学金及び授業料

- | | | | |
|-------|-------------|----------|---------------|
| ① 入学金 | 金沢市内居住者 | 282,000円 | （入学手続時に納入） |
| | 上記以外の者 | 423,000円 | （入学手続時に納入） |
| ② 授業料 | 年間 | 535,800円 | |
| | 前期分（4月～9月） | 267,900円 | （4月30日までに納入） |
| | 後期分（10月～3月） | 267,900円 | （10月31日までに納入） |

※入学金・授業料等は改定される場合があります。

※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※納入した入学金は返還しません。

(5) その他の経費

- | | | | |
|--------------|-------------------|----------|------------|
| ① 成美会費（後援会費） | | 60,000円 | （入学手続後に納入） |
| ② 学生自治会費 | | 10,000円 | （入学手続後に納入） |
| ③ 研修旅行費 | 美術科（日本画、彫刻、芸術学専攻） | 100,000円 | （入学手続後に納入） |
| | 美術科（油画専攻） | 200,000円 | （入学手続後に納入） |
| | デザイン科（各専攻共通） | 120,000円 | （入学手続後に納入） |
| | 工芸科 | 130,000円 | （入学手続後に納入） |

④ その他、学外研修費、用具・材料費等の学修経費

(6) 留意事項

- ① 入学手続期間内（3月27日（土）まで）に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 他の国公立大学・学部に入学者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
- ③ 入学手続後の取消は認めません。

17. 入学試験情報の提供

(1) 情報の提供

① 学科・専攻別の出願状況等

令和3年1月25日からホームページで提供します。

② 令和3年度入学者選抜試験の志願者、受験者、入学者数等

令和3年4月中旬にホームページで提供します。

③ 令和3年度入学試験問題

令和3年4月中旬にホームページで提供します。

④ 令和2年度入学者選抜試験の志願者、受験者、入学者数

令和2年4月15日よりホームページで公開しています。

(2) 入学試験個人成績の開示

本学は、令和3年度一般選抜個別学力検査等の試験成績の開示を、受験者本人から照会があった場合のみ行います。希望者は、郵送する封筒の表に「成績開示請求」と朱書し、返信用封筒〔長形3号封筒（120 mm×235 mm）に郵便切手84円を貼付し、受験者の郵便番号・住所・氏名・受験番号を明記したもの〕及び本学受験票（原本）を同封のうえ、令和3年5月1日から5月31日まで（受付期間内消印有効）の間に郵送により事務局に請求してください（成績開示の発送は6月中旬を予定しています。）。

実技試験Ⅰの成績は、ABCDEの5段階ランクで、実技試験Ⅱの成績は、実技試験ⅠとⅡの総合点で開示します。油画専攻においては、実技試験の成績及び作品提出・面接の成績をそれぞれABCDEの5段階ランクで開示します。芸術学専攻においては、実技試験・面接又は小論文・面接のうち選択した受験科目の得点を開示します。

なお、合格者の最高・最低点及び平均点については開示しません。

本学受験票（原本）が無いと開示できませんので、注意してください。

18. 個人情報の取扱い

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成13年法律第140号。以下「個人情報保護法」という。）に基づき、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報（住所・氏名・成績等）の利用については、次のとおりです。

(1) 利用目的について

① 合格者の入学手続に関わる業務

② 入学手続者の入学後の学籍管理等の修学に係わる業務及び健康診断等の保健管理に係わる業務

③ 入学手続者の入学金及び授業料徴収等の納付金管理に係わる業務

④ 1年次における入学金免除及び授業料免除並びに奨学生選考等修学支援に係わる業務

⑤ 個人を特定できない形での統計処理業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究

(2) 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、個人情報保護法第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用し、又は第三者に提供することはありません。ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- ① 上記(1)①～⑤の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合
- ② 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る。）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- ③ 本人の利益となる大学関係者に情報提供する場合

19. 受験生の宿泊

1. 本学では、宿泊の斡旋をしておりません。
2. 宿泊施設の紹介は、金沢市旅館ホテル協同組合で行っています。
下記をご参照ください。

金沢市旅館ホテル協同組合からのご案内

①受験生向け宿泊施設一覧

金沢市旅館ホテル協同組合公式サイト『金沢おもてなしの宿』<http://yadotime.jp> よりトピックス「金沢美術工芸大学受験生の宿泊について」から受験生向け宿泊プランのある旅館・ホテルをご覧ください。

宿泊のご予約は各旅館・ホテルへ直接お申し込みください。

なお、この宿泊プランの旅館ホテルに限りお電話にて「金沢美大受験」とお申し出頂ければ、入学試験期間中に予定を変更して予約を解約する場合のキャンセル料をいただきません。

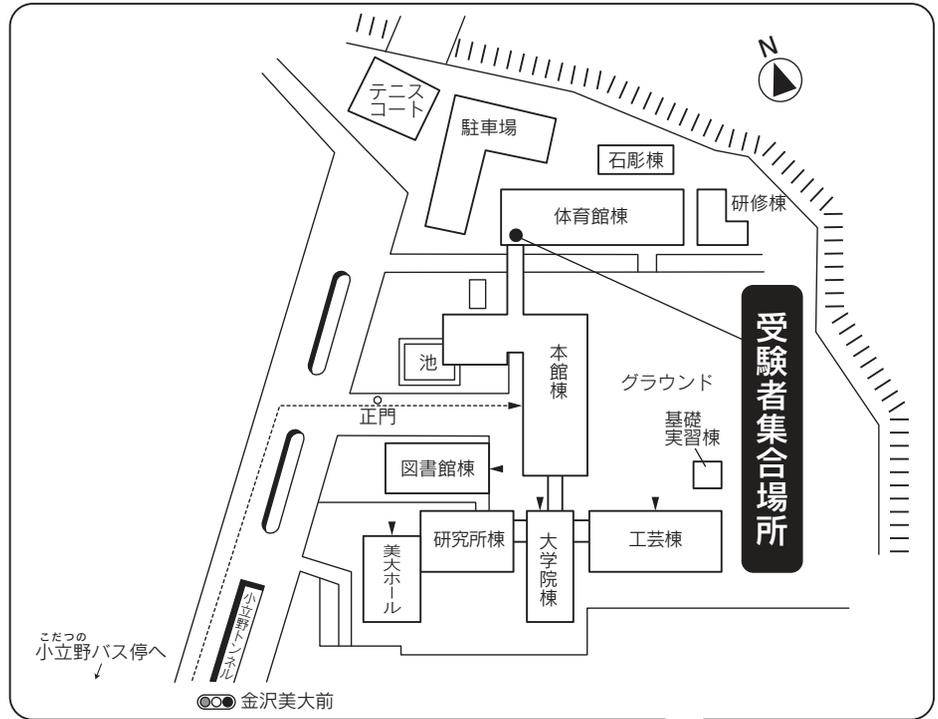
②お電話でのお問合せ

ご要望に応じた旅館・ホテルをご案内します。

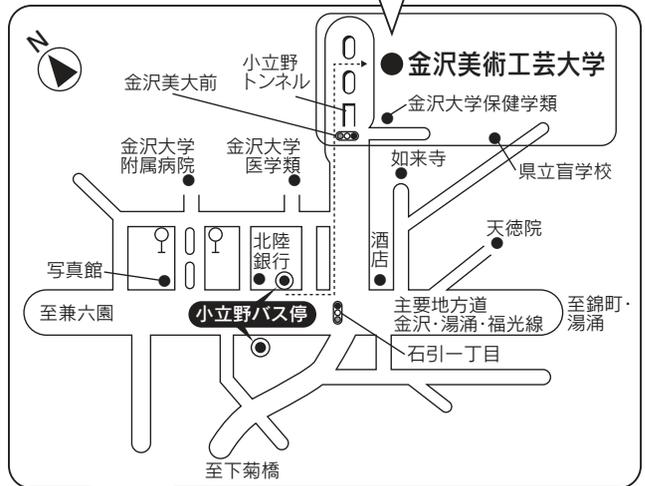
ご要望の方には当組合加盟旅館・ホテル一覧パンフレットをお送りします。

お問合せ先 金沢市旅館ホテル協同組合
営業時間 平日 10時～17時（土日祭日、年末年始は休業）
〒920-0918 石川県金沢市尾山町9-13 金沢商工会議所会館3階
TEL 076(221)1147 FAX 076(264)8433
URL : <http://yadotime.jp>

●キャンパスレイアウト



●交通アクセス



大学への交通

●電 車／金沢駅下車

●バ ス／金沢駅兼六園口 バスターミナル7番のりば

- ①東部車庫行、①金沢学院大学行、
- ②湯涌温泉行、②北陸大学薬学部行、②北陸大学太陽が丘行、
- ⑥駒帰行 (乗車約25分)

金沢駅兼六園口 バスターミナル6番のりば

- ⑬湯谷原行、⑭田上住宅行 (乗車約25分)

金沢駅金沢港口 バスターミナル5番のりば

- ⑩東部車庫行、⑩金沢学院大学行、⑬湯谷原行 (乗車約25分)

いずれのバスも「小立野(こだつ)」で下車してください。(徒歩約8分)

タクシー／金沢駅から約20分

●自動車／北陸自動車道

金沢森本ICから約15分

金沢西ICから約25分

●航空機／小松空港から

バス／リムジンバス (乗車約40分)

金沢駅下車

(乗り換え、兼六園・金沢港口から電車の場合に同じ)



金沢美術工芸大学

KANAZAWA COLLEGE OF ART

公立大学法人 金沢美術工芸大学
〒920-8656 石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531 FAX 076-262-6594

5-11-1 Kodatsuno Kanazawa Ishikawa
920-8656 Japan
TEL +81-76-262-3531 FAX +81-76-262-6594
<https://www.kanazawa-bidai.ac.jp>

